

若者の情報収集手段について

2021/9/28

株式会社アイサポート

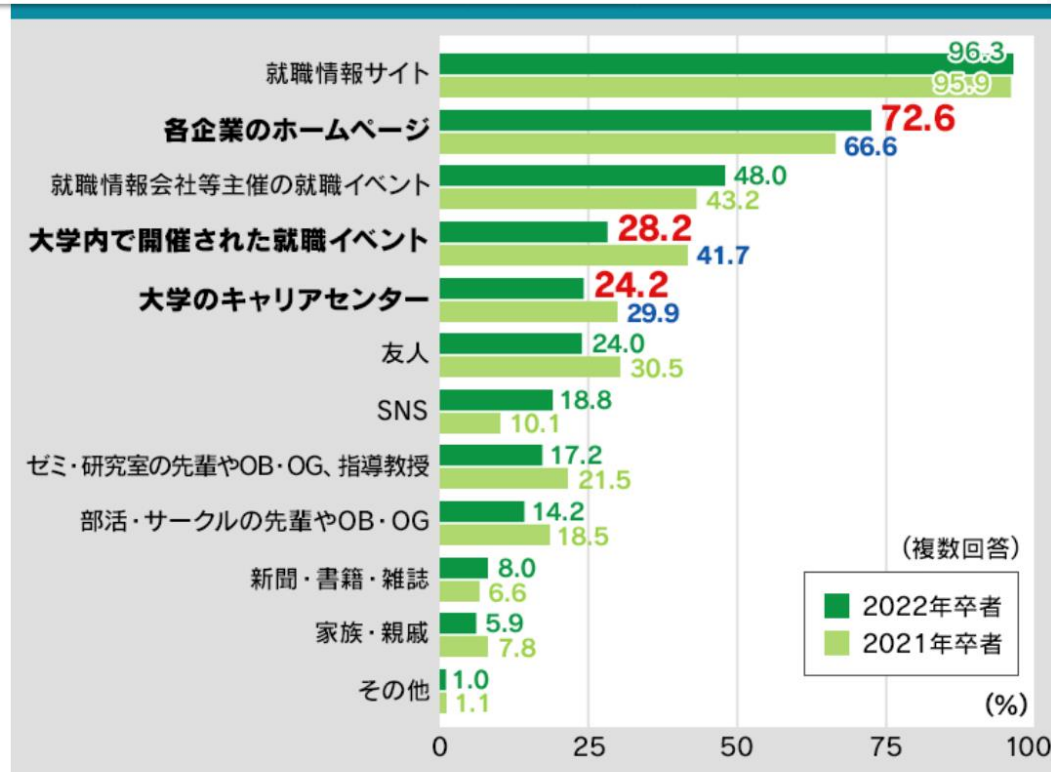
<https://www.isl.co.jp/>

木村 譲

就活の時にどんな情報について調べているか？

1. 就職活動のやり方が変わる？コロナ禍で変化した最新活動法3選
<https://www.iyobank.co.jp/sp/iyomemo/entry/20210323.html>
2. 「自分にあった業種は」「何を着ていけばよいの」就活の情報収集 どうしてる？
https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu590/
3. ～就活生対象 最新アンケート報告～ 学生の約8割が、SNSで情報発信している企業に好印象 就活生は投稿内容より「時代に合わせた変化ができるか」に注目
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000198.000027235.html>
4. 4600人調査でわかった「今の就活生」5つの特徴
<https://toyokeizai.net/articles/-/277231>
5. 就活の企業選び 何を重視しますか？
https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu610/
6. 【22卒就活調査】会社選びで重視することは「社風が合うこと」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000034.000060461.html>
7. 就職先はやっぱ有名企業？ 22年卒の就活生が重視していること
<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2105/13/news055.html>
8. 【就活生の入社決め手ランキング】第1位は「自己成長」だった！
<https://offerbox.jp/columns/22226.html>
9. コロナ禍を経て、企業選びの軸に変化あり！求職者1万人に聞いた転職の本音を公開！転職者心理 [2021年版]
<https://partners.en-japan.com/special/210521/>

就活の情報入手先は



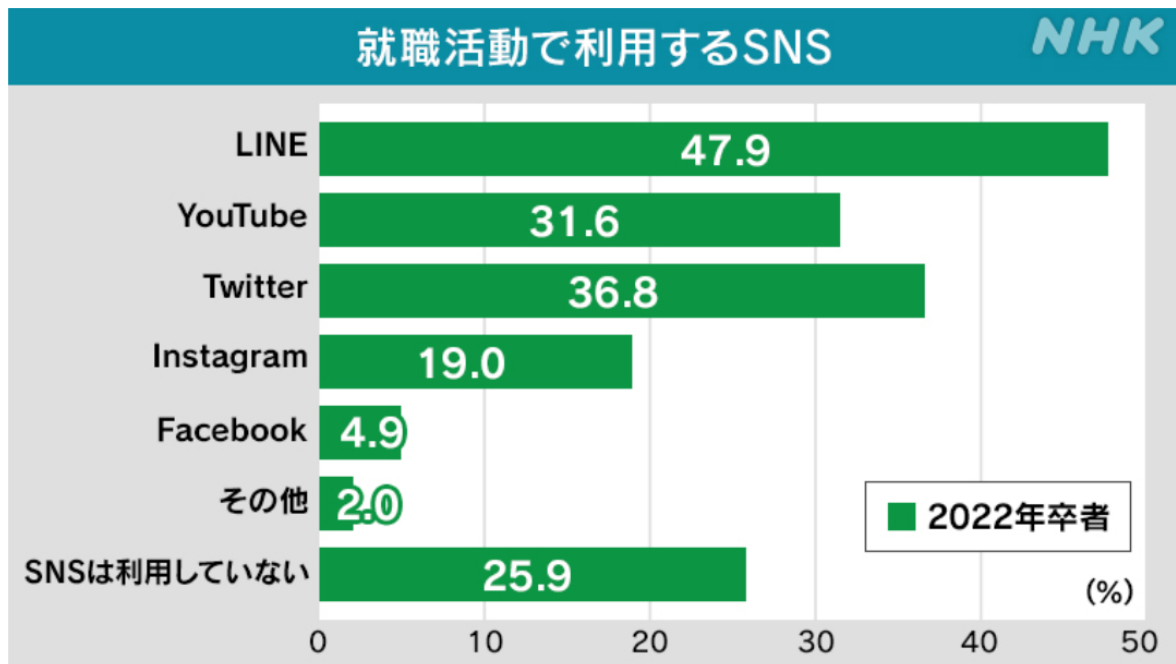
学生たちが最もよく利用する情報の入手先は、「就職情報サイト」。やはり、ほぼ全ての学生が利用しているようです。

一方、「大学内で開催された就職イベント」や、「大学のキャリアセンター」は、大学のコロナ対応が影響し、21年卒と比べて減少しています。

逆に、利用が増えた項目の1つが「各企業のホームページ(採用サイト)」です。企業がホーム

https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu590/

以下「キャリアタス就活2020 10月1日時点の就職意識調査」より。(対象:大学3年生・大学院生 回答者数:1035人 期間:2020年10月1日～10日)



最も利用されているのはLINE。半数近くが就活に利用していると回答しました。企業側がインターンシップやOB訪問などで接点を持った学生のその後のフォローに使ったり、個別に就活の相談に乗ったりするケースもあるそうです。

次に使われているのがYouTube。PR動画の制作・発信に力を入れる企業が増え、QRコードのついたチラシを配布するなどの工夫を各社こらしています。

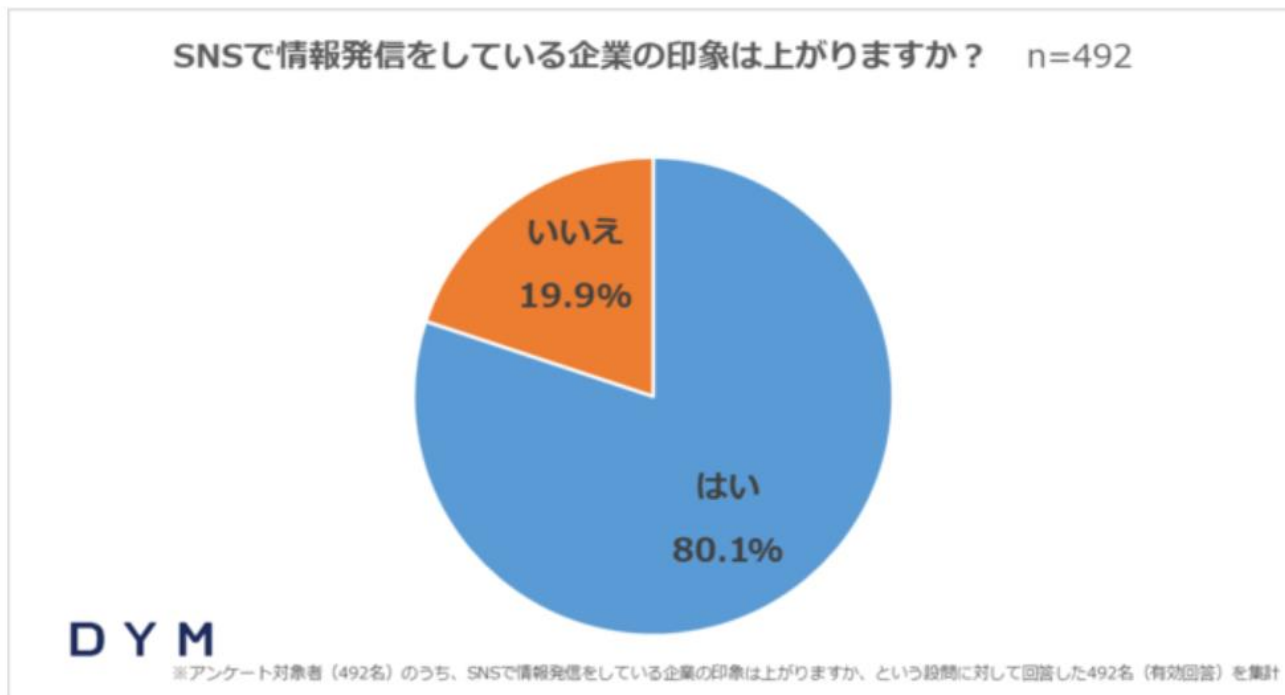
Twitterは不特定多数に向けた口コミなどの情報収集に使われているようです。

https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu590/

以下「キャリアタス就活2020 10月1日時点の就職意識調査」より。(対象:大学3年生・大学院生 回答者数:1035人 期間:2020年10月1日～10日)

■「SNSで情報発信していると企業の印象がよくなる」と回答する学生が約80%

■「SNSで情報発信していると企業の印象がよくなる」と回答する学生が約80%

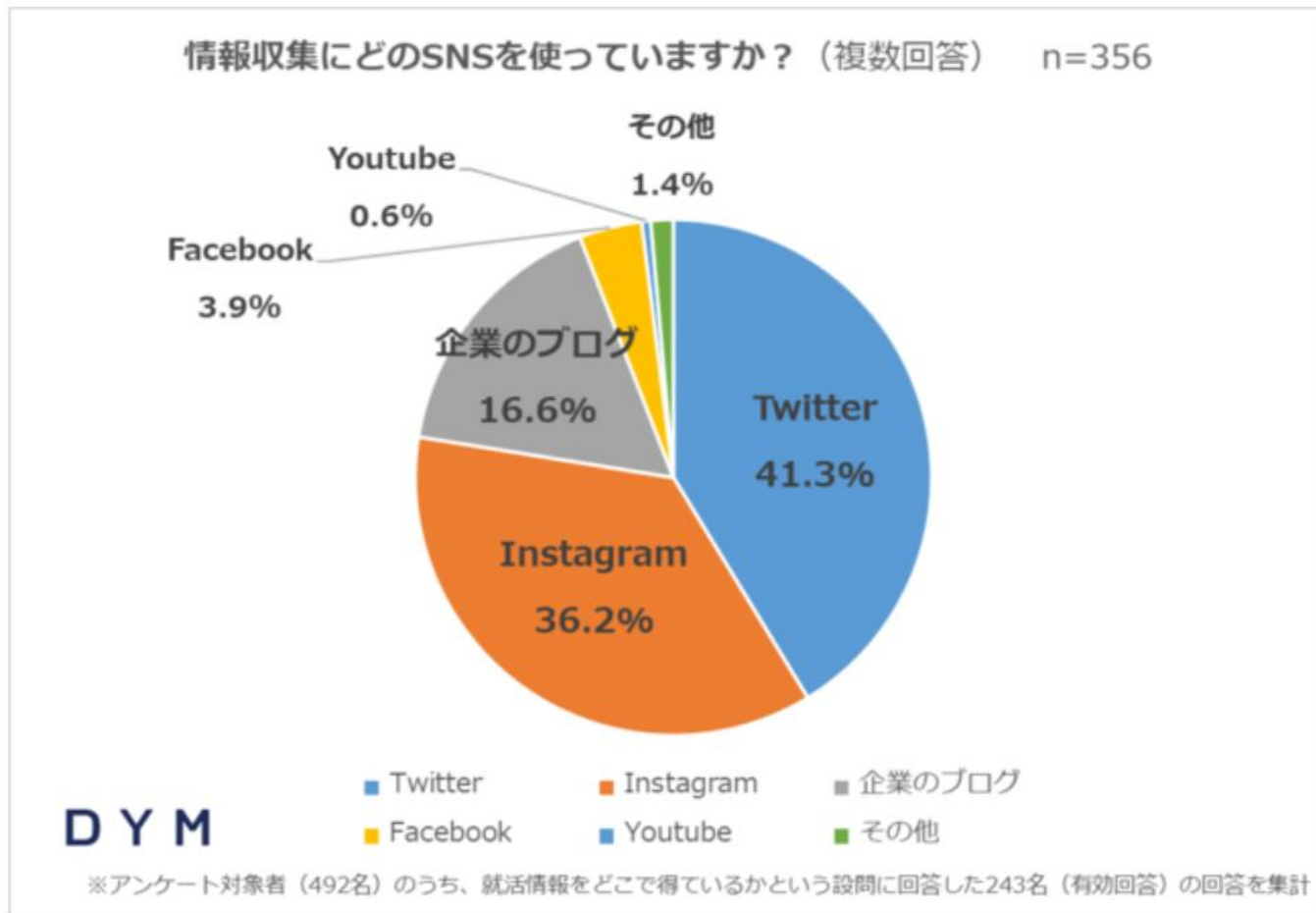


「SNSで情報発信をしている企業の印象は上がりますか？」という質問に対して、「はい」と答えた学生は394名（80.1%）、「いいえ」と答えた学生は98名（19.9%）でした。また、就活でSNSを活用している学生に「就活情報をSNSで収集する際に何を使いますか？」と質問したところ、「Twitter」が最も多く147名（41.3%）、次いで「Instagram」が129名（36.2%）という結果になりました。TwitterやInstagramは簡単に情報収集することができ速報性もあるため、SNSで就活情報を収集する際は、ちょっとした時間でも最新の情報を収集しようとする傾向が強いことがわかりました。

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000198.000027235.html>

2020年11月2日(月)～2021年4月23日(金)に行った492名への調査

■「SNSで情報発信していると企業の印象がよくなる」と回答する学生が約80%



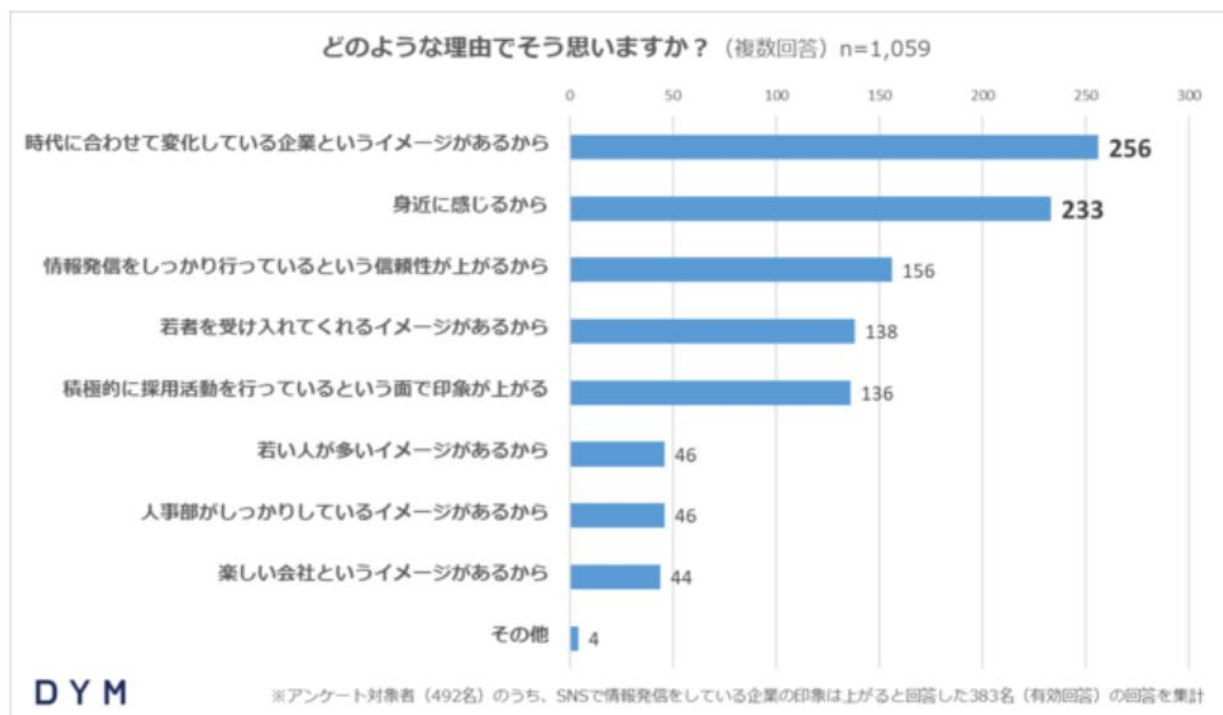
※アンケート対象者（492名）のうち、就活情報をどこで得ているかという設問に回答した243名（有効回答）の回答を集計

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000198.000027235.html>

2020年11月2日(月)～2021年4月23日(金)に行った492名への調査

■ SNSを通して企業の印象がよくなる理由の第一位は企業としての柔軟性が見受けられるから

SNSで情報発信をしている企業は印象がよくなると回答した学生にその理由を尋ねたところ、最多は「時代に合わせて変化している企業というイメージがあるから」で256名（24.2%）、次に「身近に感じるから」で233（22.0%）、「情報発信をしっかりと行っているという信頼性が上がるから」156名（14.7%）であることが分かりました。



こうした結果から、学生は企業側から歩み寄ってくれることに対して好感を持ち、印象がよくなる傾向があると考えられます。また、時代の風潮に合わせた変化ができるという点については、コロナなど想定外のことが起きても柔軟に対応できる企業という安心感を学生に与えることが出来ているのではと考えます。

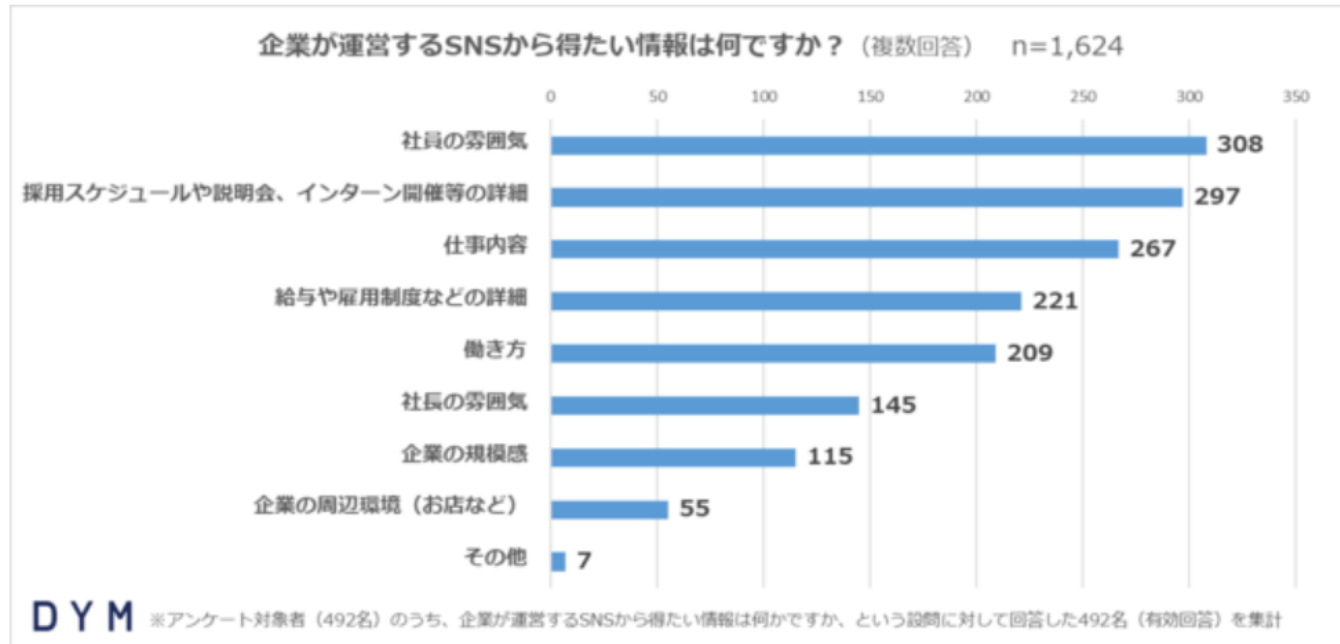
つまり、投稿内容の質よりもSNSを活用していること自体が印象を左右していることがわかりました。

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000198.000027235.html>

2020年11月2日(月)～2021年4月23日(金)に行った492名への調査

こうした結果から、学生は企業側から歩み寄ってくれることに対して好感を持ち、印象がよくなる傾向があると考えられます。また、時代の風潮に合わせた変化ができるという点については、コロナなど想定外のことが起きても柔軟に対応できる企業という安心感を学生に与えることが出来ているのではと考えます。

つまり、投稿内容の質よりもSNSを活用していること自体が印象を左右していることがわかりました。

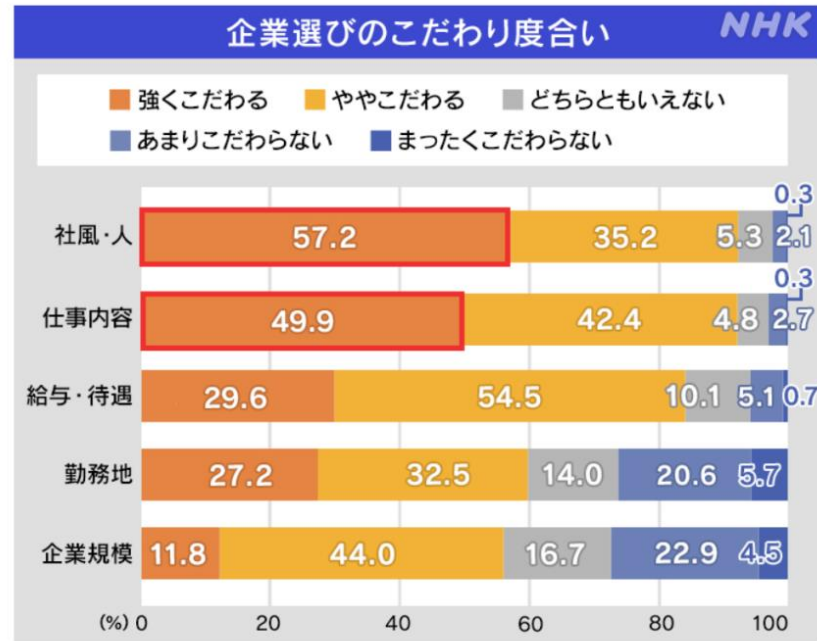


また、「企業が運営するSNSから得たい情報は何か？」という質問では、「社員の雰囲気」、「採用スケジュールや説明会、インターン開催等の詳細」「仕事内容」「給与や雇用制度などの詳細」が上位に来ることがわかりました。SNSを通して就活サイトだけではわからない情報を得ようとする傾向がみられました。またそれだけでなく、採用スケジュールや説明会、インターン開催などの最新情報の入手を目的としていることもわかりました。

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000198.000027235.html>

2020年11月2日(月)～2021年4月23日(金)に行った492名への調査

就活の企業選び 何を重視しますか？



「強くこだわる」ポイントとして最も多かった回答は、「社風・人」(57.2%)でした。2番目は「仕事内容」(49.9%)で、割合は去年と比べてあまり変化はありませんでした。

新型コロナでどんなに社会情勢が変わっても、苦勞して入社し多くの時間を過ごすことになる会社の雰囲気や、入ってからどんな仕事をするのかは、譲れないポイントになりますよね。

一方で、新型コロナで企業をとりまく環境が激変していることを背景に、「給与・待遇」と「企業規模」を重視すると回答した割合が、2021年卒の学生より減少しました。

https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu610/

(ディスコ 就職意識調査より 対象:2022年3月卒業予定の大学3年生・大学院生
回答者数:1072人 期間:2020年11月16日～24日)

就活の企業選び 何を重視しますか？

「給与・待遇」「企業規模」にこだわる割合 **NHK**

	2022年卒	2021年卒
給与・待遇	84.1%	89.2%
企業規模	55.8%	61.2%

「給与・待遇」や「企業規模」で、「強くこだわる」「ややこだわる」を選んだ人の割合は、去年と比べるとそれぞれ5ポイント以上減っています。

特に「給与・待遇」については、「強くこだわる」の割合に限ると10ポイント以上減少しました。

大手企業の業績悪化や採用を手控えるニュースなどにふれ、給与や規模だけにこだわらない、小さくても高い技術力を持った企業を選びたい・・・などと考えている学生も多いようです。

https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu610/

(ディスコ 就職意識調査より 対象:2022年3月卒業予定の大学3年生・大学院生
回答者数:1072人 期間:2020年11月16日～24日)

就活の企業選び 何を重視しますか？

【中小企業への就活】

こうした状況を反映して、中小企業に目を向ける就活生が増えています。

学生たちからは、こんな意見が聞かれました。

「日本のほとんどの企業は中小企業であるし、やりたいことと一致すれば規模はあまり関係ない」(文系女子)

「ニッチな分野で頑張っている企業もある。将来の活躍が期待できると思う」(理系男子)

「インターンに参加すると、いい会社がたくさんある。規模で縛る必要はないと思う」(文系男子)

「大企業よりも中小企業のほうが、私生活を充実できそう」(理系女子)

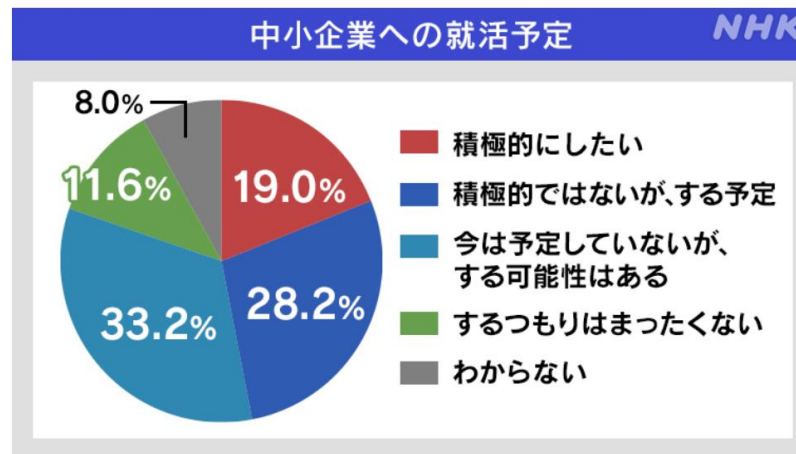
「コロナで採用人数が減っているため、中小企業も視野にいれておかないと後で焦りそう」(文系男子)

実際、今回の調査でも、中小企業に就職活動をする予定があるかどうか聞いたところ、およそ半数にあたる47.2%が、「積極的にしたい」「積極的ではないがする予定」と答えています。

https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu610/

(ディスコ 就職意識調査より 対象:2022年3月卒業予定の大学3年生・大学院生
回答者数:1072人 期間:2020年11月16日～24日)

就活の企業選び 何を重視しますか？



このような学生の傾向について、調査会社では次のように分析しています。

ディスコの担当者

「ここ数年の売り手市場の時は、大手志向の学生が多かったですが、コロナ禍にあっては企業規模だけで志望を決めてしまうと立て直しが難しくなる危険性があります。

コロナ禍でも採用意欲のある企業もあるので、視野を広げてさまざまな企業に目を向けていくことが、大切になってきます」

例年とは様変わりしているコロナ禍での就職活動。

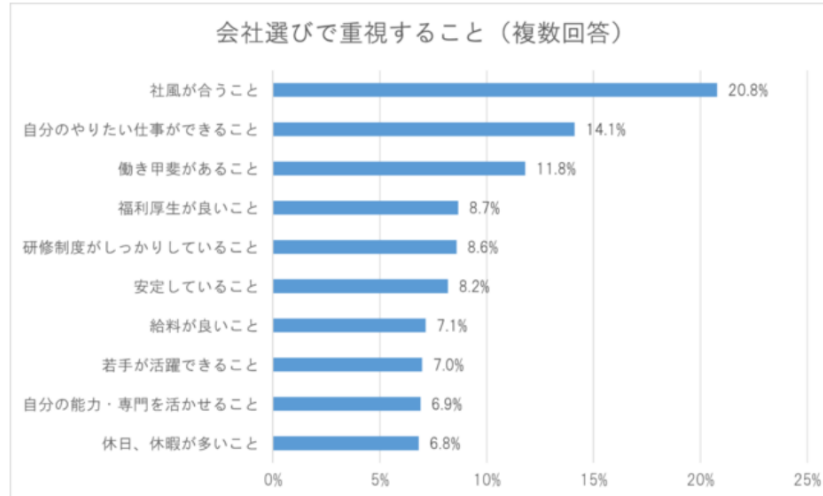
厳しさも予想されますが、さまざまな情報を収集して乗り切りたいと思います。

https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu610/

(ディスコ 就職意識調査より 対象:2022年3月卒業予定の大学3年生・大学院生
回答者数:1072人 期間:2020年11月16日～24日)

■ 22卒学生が会社選びで重視することは「社風が合うこと」

会社選びで重視することについて、「社風が合うこと」20.8%、「自分のやりたい仕事ができること」14.1%、「働き甲斐があること」11.8%が上位3つの理由となっており、「休日、休暇が多いこと」や「給料が良いこと」といった待遇面の理由よりも多く挙げられています。



■ 22卒学生が参加したいインターンシップの特徴は「現場社員と話せること」

参加したいインターンシップの特徴については、「現場社員と話せること」が最も多く挙げられており、インターンシップを通じて自分が行きたい企業の社風を見極めたいという意向を見とることができます。

こうした結果について、22卒向け就職支援を行うサービスの責任者は、「コロナ禍の就職活動において社風や会社の雰囲気を知りたい学生が増加しています。理由は、企業からの情報発信がオンラインに偏り、本来インターンや説明会に足を運ぶことで得られる情報が伝わりにくくなってきているためです。社風や現場社員の価値観との不一致は、早期離職やモチベーションの低い若手社員を増やす要因になりかねません」と言います。

2020年11月5日

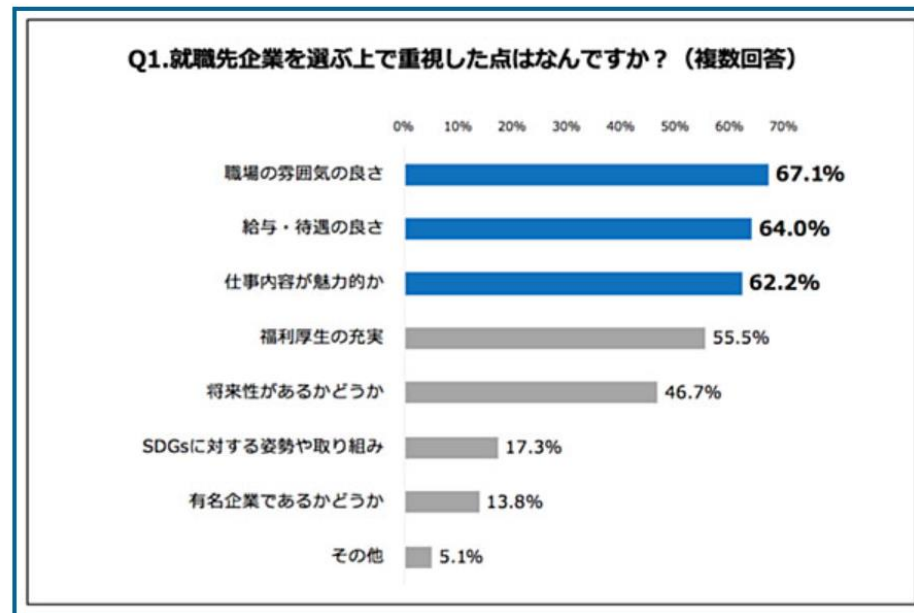
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000034.000060461.html>

若年層向けの就職支援事業を展開する株式会社ジェイック(所在地:東京都千代田区、代表取締役:佐藤剛志)は、22卒学生の就活に関するアンケート結果を発表します(回答者数386名)。

22年卒の就活生が重視していること

いまの就活生は就職先を選ぶ上で、「有名企業であるかどうか」よりも「SDGsに対する姿勢や取り組み」を重視している——。PRマーケティング事業を行うベイニッチ（東京都港区）が、首都圏の1都3県に在住する2022年春就職予定の就活生550人を対象にした調査で分かった。

就職先企業を選ぶ上で重視した点を質問したところ、最も多かったのは「職場の雰囲気の良いさ」（67.1%）、次いで「給与・待遇の良いさ」（64.0%）、「仕事内容が魅力的か」（62.2%）と続いた。「SDGsに対する姿勢や取り組み」は17.3%で、前回調査（21卒就活生）の6.4%から10.9ポイントと急上昇。「有名企業であるかどうか」の13.8%を上回った。



就職先を選ぶ際、重視していること（出典：ベイニッチ）

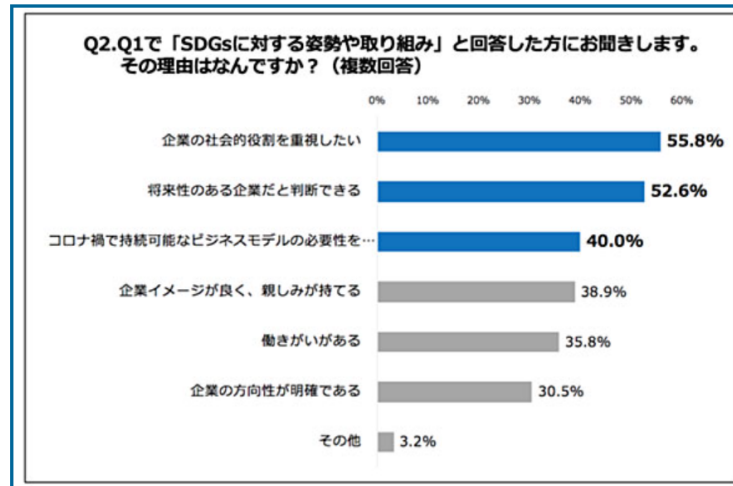
2021年05月13日 09時06分 公開

PRマーケティング事業を行うベイニッチ（東京都港区）が、首都圏の1都3県に在住する2022年春就職予定の就活生550人を対象にした調査

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2105/13/news055.html>

22年卒の就活生が重視していること

「SDGsに対する姿勢や取り組み」と答えた人にその理由を尋ねたところ、「企業の社会的役割を重視したい」（55.8%）、「将来性のある企業だと判断できる」（52.6%）、「コロナ禍で持続可能なビジネスモデルの必要性を実感したから」（40.0%）という結果になった。



「SDGsに対する姿勢や取り組み」と答えた人にその理由を尋ねた（出典：ベイニッチ）

また、「SDGsに対する姿勢や取り組み」と回答した人に、企業のSDGsへの取り組みを知ったきっかけを聞いたところ、「会社説明会・インターンシップ」が55.8%と最多だった。以下、「メディア（ニュース・新聞・Webサイトなど）」（47.4%）、「企業CM・企業ホームページ」（44.2%）、「採用ホームページ」（42.1%）と続いた。

同様に、「SDGsに対する姿勢や取り組み」と答えた人に、企業のSDGsへの取り組みが企業選びに影響したか尋ねたところ、「とても影響した」が31.6%、「少し影響した」が53.7%という結果に。

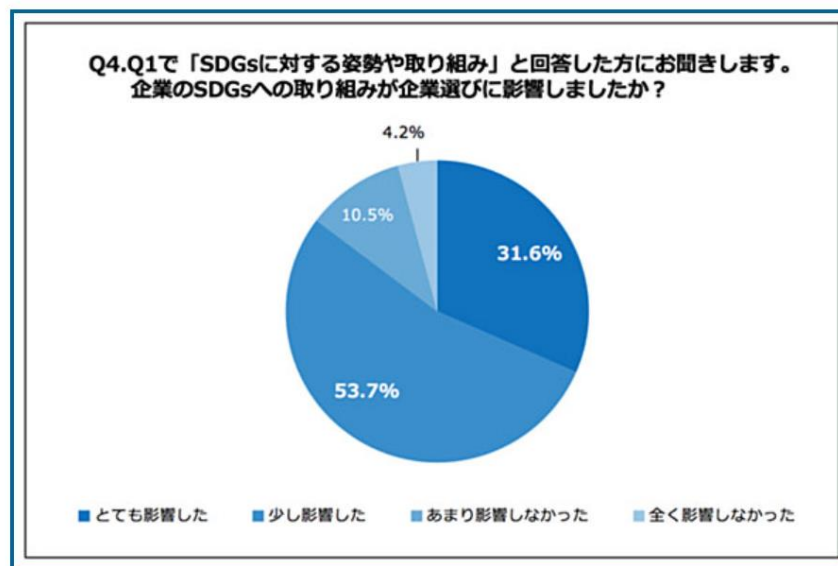
2021年05月13日 09時06分 公開

PRマーケティング事業を行うベイニッチ（東京都港区）が、首都圏の1都3県に在住する2022年春就職予定の就活生550人を対象にした調査

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2105/13/news055.html>

22年卒の就活生が重視していること

同様に、「SDGsに対する姿勢や取り組み」と答えた人に、企業のSDGsへの取り組みが企業選びに影響したか尋ねたところ、「とても影響した」が31.6%、「少し影響した」が53.7%という結果に。



企業のSDGsへの取り組み、約9割が「企業選びに影響した」（出典：ベイニッチ）

今回の調査で、22卒就活生の約7割は「SDGsについて知っている」と回答。17の目標のうち、最も高い関心を集めているのは「ジェンダー平等の実現」（40.6%）であることが分かった。

「新たな目標に取り組むということは、企業の将来性があると感じた」「社会的に果たす役割は、企業のイメージに直結すると思う」などの声が挙がっており、SDGsへの取り組みが企業イメージに好影響を与えていると就活生は感じているようだ。

2021年05月13日 09時06分 公開

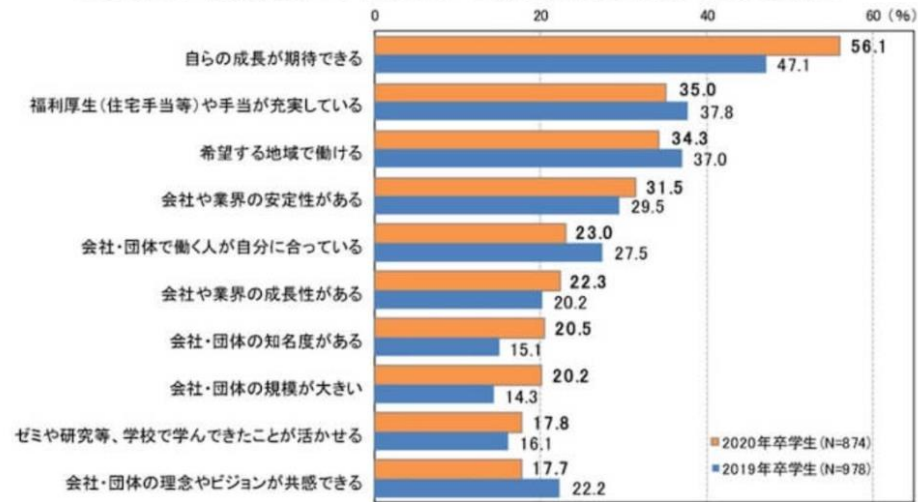
PRマーケティング事業を行うベイニッチ（東京都港区）が、首都圏の1都3県に在住する2022年春就職予定の就活生550人を対象にした調査

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2105/13/news055.html>

【就活生の入社決め手ランキング】 第1位は「自己成長」だった！

就職先を確定する際に決め手となった項目（2020年卒学生上位10項目）

大学生_全体（就職志望者のうち民間企業への就職確定者/複数回答）※大学院生除く



引用：[就職プロセス調査\(2020年卒\)【確定版】「2020年度3月度\(卒業時点\)内定状況」](#)

リクルートキャリア 就職みらい研究所

第1位「自らの成長が期待できる」という項目でした。

つまり「自己成長」ということですね。

2位以降に圧倒的な差をつけての1位ということで、就活生の多くが自己成長を基準にしていることがわかります。

また、2019年卒に比べても9ポイント上昇していることから、企業選びにおける自己成長への期待は大きくなっているといえます。

2位以降についても「福利厚生や手当の充実」「希望する地域で働けるか」などが上位を占めており、学生は企業の規模や知名度よりも働きやすさや環境などを重視していることがうかがえますね。

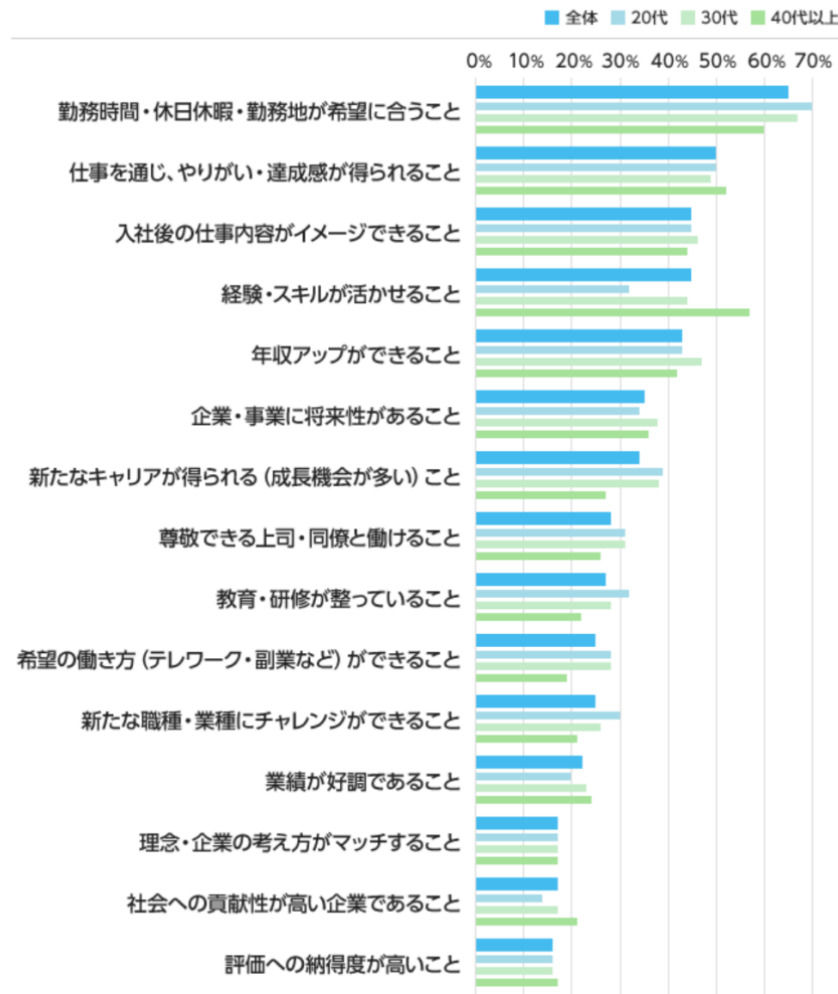
2020/09/25

引用：[就職プロセス調査\(2020年卒\)【確定版】「2020年度3月度\(卒業時点\)内定状況」](#)

リクルートキャリア 就職みらい研究所 <https://offerbox.jp/columns/22226.html>

【就活生の入社決め手ランキング】 第1位は「自己成長」だった！

あなたが大事にしている「企業選びの軸」を教えてください。



2020/09/25

引用: [就職プロセス調査\(2020年卒\)【確定版】「2020年度3月度\(卒業時点\)内定状況」](https://offerbox.jp/columns/22226.html)

リクルートキャリア 就職みらい研究所 <https://offerbox.jp/columns/22226.html>

【就活生の入社を決め手ランキング】 第1位は「自己成長」だった！



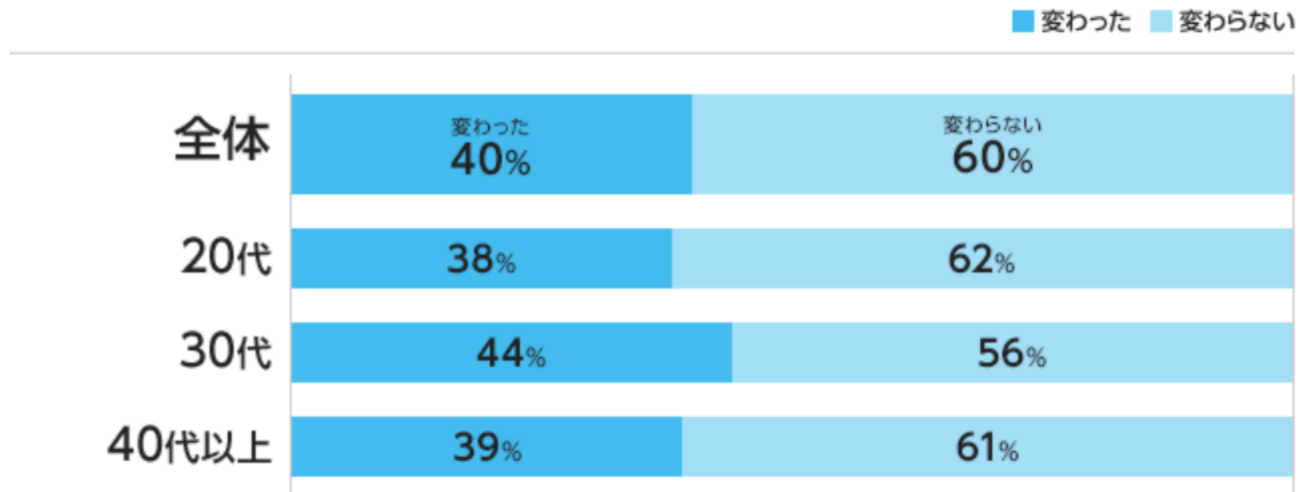
2020/09/25

引用: [就職プロセス調査\(2020年卒\)【確定版】「2020年度3月度\(卒業時点\)内定状況」](https://offerbox.jp/columns/22226.html)

リクルートキャリア 就職みらい研究所 <https://offerbox.jp/columns/22226.html>

【就活生の入社の決め手ランキング】 第1位は「自己成長」だった！

新型コロナを経験し、「企業選びの軸」は変わりましたか？



新型コロナを経て、全体の4割の人が「企業選びの軸が変わった」と回答。30代がもっとも「変わった」人が多いことも見て取れます。

具体的に何の軸を重視するようになったのか、確認していきましょう。

2020/09/25

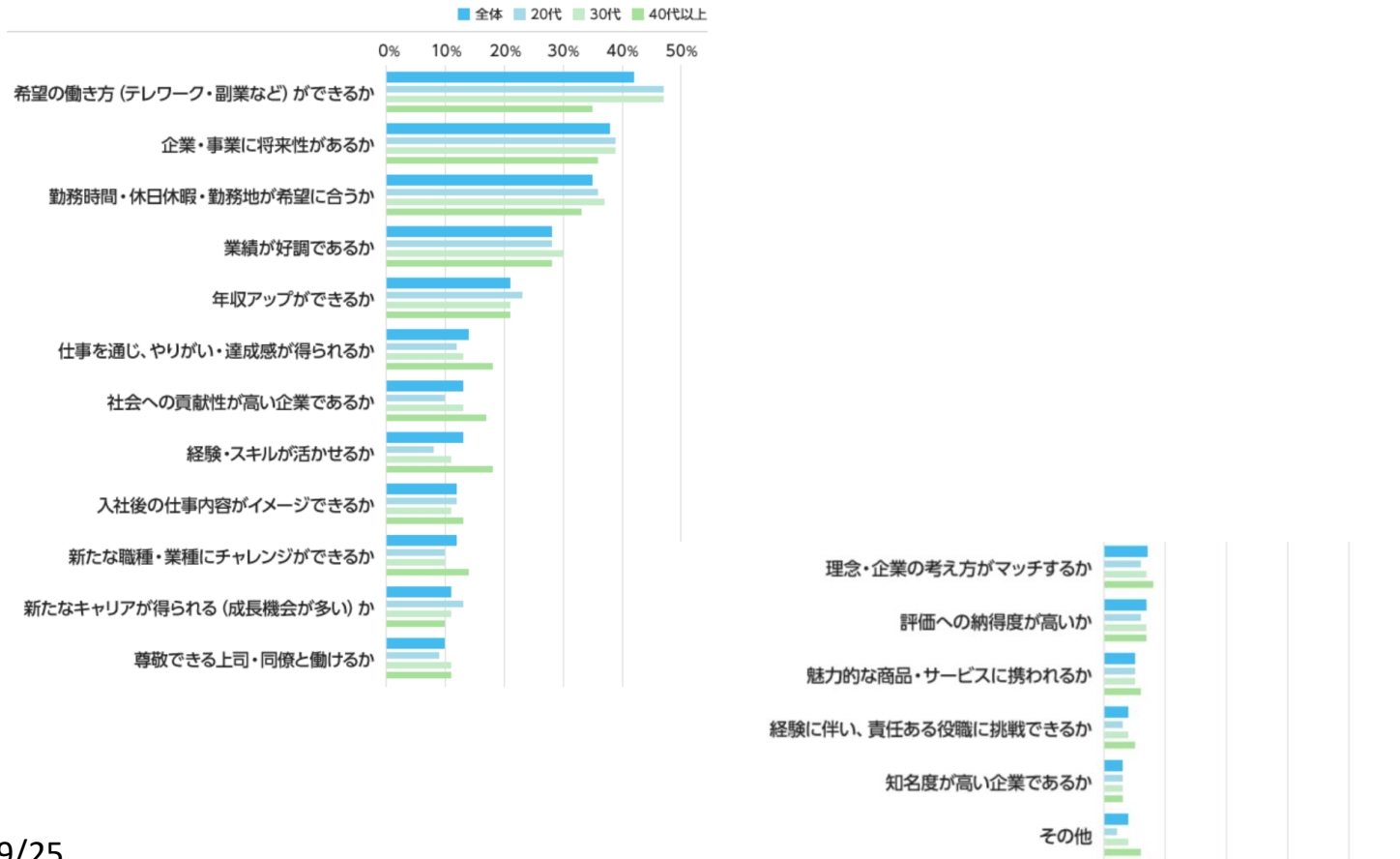
引用：[就職プロセス調査\(2020年卒\)【確定版】「2020年度3月度\(卒業時点\)内定状況」](#)

リクルートキャリア 就職みらい研究所 <https://offerbox.jp/columns/22226.html>

【就活生の入社決め手ランキング】 第1位は「自己成長」だった！

以前より「希望の働き方（テレワーク・副業など）」「企業・事業の将来性」等を重視するようになった人多数

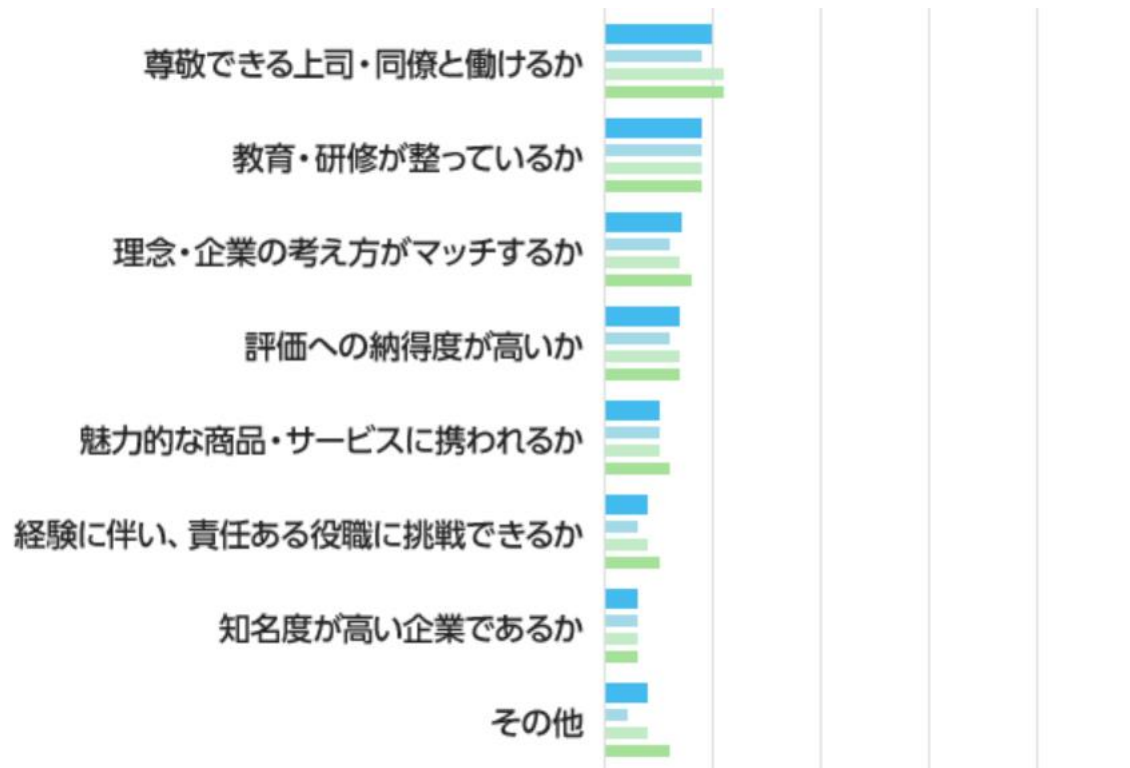
企業選びの軸で、とくに何を重視するようになりましたか？（複数回答可）



2020/09/25

引用：[就職プロセス調査\(2020年卒\)【確定版】「2020年度3月度\(卒業時点\)内定状況」](https://offerbox.jp/columns/22226.html)

リクルートキャリア 就職みらい研究所 <https://offerbox.jp/columns/22226.html>



2020/09/25

引用: [就職プロセス調査\(2020年卒\)【確定版】「2020年度3月度\(卒業時点\)内定状況」](https://offerbox.jp/columns/22226.html)

リクルートキャリア 就職みらい研究所 <https://offerbox.jp/columns/22226.html>

4600人調査でわかった「今の就活生」5つの特徴

- 特徴1 スマホオンリー世代と考えるのは早計
- 特徴2 メール文化は衰退し、LINEが主役に
- 特徴3 目的別にコミュニケーションツールを活用
 - 「LINE」は親しい友だちや家族との連絡用
 - 「Twitter」は、さまざまな情報の収集用
 - 急激に利用度が上がっているのが「Instagram」
 - 逆に、「Facebook」を利用する学生は減少傾向
- 特徴4 興味のあるコンテンツはピンポイントでフォロー
- 特徴5 人生における優先度で「仕事」が下落

<https://toyokeizai.net/articles/-/277231>

マイナビが4656人の就活性を対象に実施した「[2020年卒 マイナビ大学生のライフスタイル調査](https://toyokeizai.net/articles/-/277231)」